



戦没者を追悼。平和な世界に！



平成21年度阿蘇市戦没者追悼式が10月28日、阿蘇市遺族会連合会（田嶋日出志会長）をはじめとする多くの遺族の方々、県や市、関係団体の来賓など参列のもと、阿蘇体育館でしめやかに挙行されました。

阿蘇市においても、先の大戦で多くの方々が生国のため戦地で尊い命を落とされています。

追悼式では、戦没者の方々に敬意を捧げた「追悼の詞」が述べられた後、参列者全員が祭壇に故人を想いながら献花し冥福を祈りました。

火焚殿の火災乗り越え、神事無事終了

8月19日から59日間火を焚き続ける霜神社の農耕祭事「火焚神事」（国指定重要無形民俗文化財）。その最終日を告げる「乙女揚げ」の神事が10月16日行われました。今年神事途中の9月26日、火焚殿が全焼し、その後の神事継続が心配されましたが、氏子の皆さんの尽力により無事終了しました。下役犬原氏子総代長の薄井朝次さんは「ご心配おかけしました。現在、皆でがんばり復旧に努めています」と話され、伝統を守る続ける地域のご苦労、地域の絆の深さがうかがえました。

韓国や全国の選手が熱戦！阿蘇市でテコンドー選手権



第3回熊本オープンテコンドー選手権大会が、10月4日、阿蘇体育館で盛大に開催されました。本大会は国際的な大会を阿蘇市で開催しようと、熊本県テコンドー協会（樋口悦夫会長）が主催し、毎年行われているもので、今回も本場韓国をはじめ全国からの選手223人が出場しました。

これを歓迎し、赤水保育園の園児たちが太鼓演奏を披露した他、開会式では、樋口会長や来賓挨拶の後、五輪選手岡本依子氏も挨拶し激励。また、世界的に有名な韓国、前国家代表演武団々長「イーキュヒョン」先生による形の特別演武もあり、大会に華を添えました。試合では、阿蘇市の選手が大活躍。中山北斗選手が一般男子58Kg級で優勝しMVPに輝いた他、一般女子49Kg級で津田ひかる選手（一の宮中出身）が優勝、3名のジュニア選手も頂点に立ちました。

観光客を魅了！涅槃像・UNKAI（雲海）ツアー



宿泊者への観光サービスとして阿蘇市観光協会が毎年実施している雲海ツアーが今年も好評で、大変喜ばれました。このツアーは、雲海の出やすい10月から11月初旬の早朝、旅館・ホテルをバスが回り、希望者を乗せ、早朝の大観峰からの眺めを味わってもらうもので、阿蘇市観光協会の吉澤寿康さんが案内人をつとめています。吉澤さんのモットーは雲海が出なかった時も「来てよかった」と思ってもらうこと。名案内もさることながら吉澤さんは通年を通して雲海を撮影し、インターネットで情報を流すなど、阿蘇の魅力伝えることに非常に努力されています。早起きは三文の徳！来年も楽しみの企画です。

【結果】上位入賞者（阿蘇市のみ掲載）

- 1位** 中山北斗(阿蘇高3年) 津田ひかる(学園大付属高2年) 富田大翔(宮地小1年) 松本和也(尾ヶ石東部小4年) 西村真利愛(宮地小6年)
- 2位** 山本悠菜(碧水小3年) 米田優(宮地小3年)
- 3位** 住大翔(宮地小2年) 木部青空(尾ヶ石東部小3年) 本田涼夏(阿蘇北中3年) 岩下凱瑛(宮地小2年)